

編集スタッフからのメッセージ

摂食・嚥下障害学分野 加齢歯科診療室 植田耕一郎

私は、新潟に赴任して3年が経過しました。お陰様で加齢歯科診療室の名前も歯学部のみならず、医学部附属病院や地域の介護施設などにも知れ渡るようになりました。そこで、本誌の編集長をお引き受けしたのを機会に、加齢歯科に関連した特集を組ませていただきました。

また、編集委員の先生方の協力のもと、多彩な話題がもりこめたのではないかと自負しております。本誌はまさに手作りの雑誌ですので、今後も読者の皆様のご意向をふんだんに盛り込んで、活発な情報交換の場となることを望んでいます。

顎顔面機能学分野 山村 健介

従来の歯学体報告に加えて、今年度から文科系のクラブをはじめ、全日本歯科学生総合体育大会（歯学体）に参加していないクラブにも活動報告を書いていただきました。中でも軟式野球部の活躍ぶりには驚かされました。近年歯学部の募集定員が減ったため、各クラブとも部員の確保に苦労していると聞きます。クラブ活動は他の学年の学生同士がいわゆる「縦のつながり」を持つ、あるいは他大学の学生との交流する上でとても有用な機会であると思います。また、全学のクラブに所属すれば他の学部の友達もできるでしょう。クラブ活動に限らず、学生時代にできるだけ多くの人と付き合い、その中で「人といかに付き合うか」ということを学ぶことも重要ではないでしょうか。

顎顔面口腔外科分野 小野 和宏

平成14年度から企画広報専門委員会の委員として、「歯学部ニュース」の企画・編集にたずさわることになりました。新潟大学歯学部を少しでも多くの方々に、またどんな些細なことでも知っていただければと思っています。

よろしく願いいたします。

最後になりましたが、原稿依頼を快く引き受けてくださった皆様にこの場をおかりしてお礼申し上げます。

口腔再建外科 野村 務

今回留学報告を担当させていただきました。お2人には、原稿依頼につき、快諾いただきありがとうございます。国外（学外）に出て外の世界を見てくるのは大変意義のあることだと思いますし、帰国されたからの報告も楽しみにしています。

顎顔面放射線学分野 益子 典子

去年に引き続き、名簿集めを担当しました。慣れもあり、昨年よりは手際良くいきました。でも、編集委員の固定は無いことを祈ります。